

福島県大学生の力を活用した地域活性化事業2014
『西会津町・山浦地区地域活性化事業報告』
 宮城教育大学小金澤研究室仙台いぐね研究会

報告者 今村なつき

1. 山浦地区の地域人口構成

以下の表は7月に集落の各世帯にヒアリング調査を行ったものをまとめたものです。

●山浦全体										集落外居住: □町内△県内▲県外											
集落居住: ◎農業○勤務●無職・学生 青印は高陽会メンバー										男性											
No	氏名	水稲	減反	他作	トラ	田植	コンパ	農従	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	20～	30～	40～	50～	
9	宮澤一	155	60ソバ	落花生	○	○	○	息子と				△	△		◎						
14	橋谷田文男	120	特養70	委託180	○	○	○	本人							◎				△	△	
10	佐藤利江	118	50草	落笹ニラ	○	○	○	娘					△	▲	◎						□
18	小林豊作	70		ニラ	○	○	○	息子					○		◎	●	○	○		▲	●□▲
7	三瓶政明	70	30保	落花生	○	○	○	本人							◎						▲▲
17	小林基八	60	50保		○	○	○	息子と				△	△		◎						
8	三瓶純一	50	60草	笹・牛	○	○	×	本人	△	△			●	◎					▲		○
11	鈴木儀平	40			○	○	○	本人						○					△	▲	
19	小林勝	40	30保	落花生	○	○	×	本人		△	△	□			◎						○
18	小林ヨシ子	38			×	×	×	委託					□	△	▲	◎					
13	三瓶常夫	32		落・笹	×	△	×	本人	○					◎							
	三瓶ミエ子	30			×	×	×	18委託					○								
5	三瓶松子	20			×	×	×	委託					○								△
6	三瓶幸雄	16			×	×	×	委託							◎						▲□
4	三瓶隆雄	15		落花生	×	×	×	農協					▲	▲	◎						
12	鈴木満子	5			×	×	×	委託		▲											△
	三瓶ミチイ	0			×	×	×	委託					△								
16	落合美恵子	0		笹	×	×	×						◎	▲							▲▲
3	三瓶明(トラ)	空家												△							
15	橋谷田佐次												△								△

自立して農作業を行う方も多く見られます。また、落花生や笹などの、稲作以外の農作業も行っていることが分かりました。

2. 地域資源の特徴

調査の結果、農業では①高齢者の自立農業、②複合的な農作業を行っているなどの特徴があることが分かりました。その他、集落外に住む親戚とのつながりも強く、週末などに手伝いに来る親戚や集落の行事で多くの親戚が参加するそうです。集落内には四季折々の高陽山の景観や山田川で見られるホタル（ヒメホタル）、山菜や生物の多様性などの特徴が見られ、自然の資源も豊かであることが分かりました。

私たちは自然的資源、農業的資源、人的資源（集落内での交流の多さ等）を再評価し、今後の集落活性化へとつなげていきます。



集落の活性化案

●高齢者の自立農業を発信する『米寿米』のブランド化

80歳以上の高齢者の方が自立して農業をするこの集落の特徴を再評価し、集落で収穫された米を『米寿米(=80歳の方が作るお米)』と名付け、ブランド化します。自分たちの生活や農業の在り方がこうした形で再評価されることで、集落の方々の自信と誇りへと繋がることを期待しています。今年度は主に道の駅で販売したり、集落内や親戚とのつながりの中で『米寿米』を広めていくことを予定しています。

●集落の資源を体験する『四季の学校』

四季によって自然や農業の資源が異なるこの集落で、集落内外を問わず多くの人に集落の資源に触れさせることで魅力を発信していくことが目的です。春(5月)には田植え、夏には田んぼの生態系観察や毎年7月上旬に集落内にある山田川で見られるホタルの鑑賞会を行います。秋(10月)には稲刈りと集落の農産物を活かし、収穫祭を行います。高齢者の方が自立して行う農作業を外部に発信していく機会ともしたいです。

●2つの活性化案による集落活性化のイメージ

集落の資源(お宝)と、それを踏まえて私たちが導き出した活性化案を図式化したものです。今年度は集落の方の声に寄り添いながらともにこの活性化案を実現していきたいです。

